

株主メモ (証券コード：2911)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (フリーダイヤル)

公告方法 電子公告
当社ホームページ <http://www.asahimatsu.co.jp/> に掲載

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部

株主様へのご優待 3月31日現在で、1,000株以上ご所有の株主各位に対し、3,000円相当の凍豆腐、生みそずい(即席みそ汁等)、当社製品の詰め合わせを贈呈いたします。

【株式に関するお手続きについて】

1. 住所変更、単元未満株の買取などのお申し出

証券会社に口座のある株主様 ⇨ 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

特別口座に口座のある株主様 ⇨ 特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

2. 未受領の配当金の支払いのお申し出

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設しております。特別口座についてのご照会等の各種お申し出は、上記連絡先をお願いいたします。

第68期中間(第2四半期)報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

 **旭松食品株式会社**
Asahimatsu Foods Co., Ltd.

▶ 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに第68期中間（第2四半期）報告書（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）をお届けいたします。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

代表取締役社長 **木下 博隆**



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調が続いているものの、欧米・東アジアの経済情勢や政治情勢の不確実性の高まりから、先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、少子高齢化が進み量的な拡大が見込めないなか、輸入原材料等に多くを依存していることによる為替変動リスクに晒されているほか、フードディフェンスを含めた更なる品質や安全性に対する要求に応えるための取り組みによりコストが増大しております。

このような状況のなか、当社グループは、前連結会計年度に引き続き、製品価値を訴求した販売活動を重点的に行い、また、効率的な販売活動を行える様、事業間の縦割り組織を廃止統合し、営業の連携・お客様対応力を強化したほか、コンビニエンスストア向けの専門的な対応部署を設置し、よりニーズに合った商品展開が可能な営業体制といたしました。

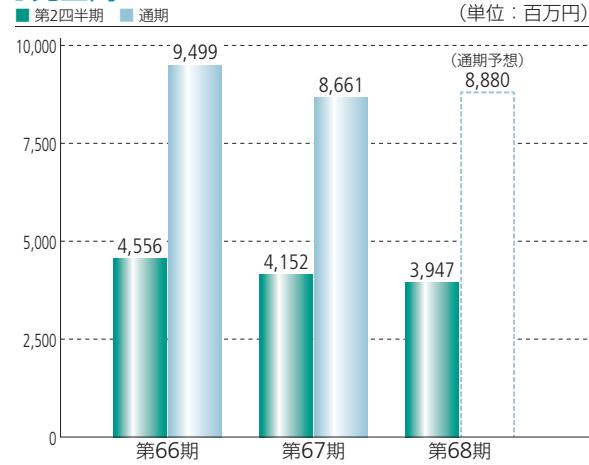
業績面では、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は39億4千7百万円（前年同四半期比4.9%

減）となりました。食料品事業セグメントの内訳としては、凍豆腐では、市場の拡大を図るため、当社グループの食品研究所におきまして凍豆腐の機能性について継続して研究を進め、製品価値の訴求に努めました。本年5月には業界団体などを通じ、凍豆腐の健康機能における、最新の研究成果として、凍豆腐が持つ脂質代謝改善作用について発表を行いました。また、噛むことは健康維持に役立つと考えられており、よく噛むこと（咀嚼）を啓発するための新商品「新あさひ豆腐 カミンこうや」の発売や、業務用おでんこうやの発売など用途の拡大にも注力いたしました。しかしながら市場全体の規模は微減傾向であり、また、製品価値への認知度がまだまだ低い上に、激烈的な価格競争や好調だった前年の反動減などによる影響もあり、売上高は18億3千5百万円（同6.4%減）となりました。加工食品においては、単品収益管理の徹底を図り、不採算アイテムの改廃を進め、一部価格体系の変更を行うなど、収益力の改善に努めてまいりました。また、消費者の皆さまに美味しく安心してお召し上がりいただけるよう当社グループ独自の特許製法によるアルコール無添加、化学調味料無添加の即席みそ汁シリーズや、減塩タイプの即席みそ汁、粘りのある納豆の特性を生かし具材にこだわった、「袋入生みそずい納豆汁プラス モロヘイヤ3食」など健康指向の商品をラインアップし価値訴求に努めてまいりました。しかし、市場の競争が更に激化しており、売上高は11億1千2百万円（同12.6%減）となりました。その他の食料品としましては、売上高は9億8千8百万円（同9.6%増）となりました。その中でも特に、嚥下機能が低下したお客様向けの食品を中心とした医療用食材は、引き続き好調に推移しております。具体的な営業活動としては、病院や介護施設、給食会社などのユーザーへ直接訪問し、商品の特徴や利便性などの詳細な説明を、積極的かつ継続的に行っております。その結果、年々認知度も向上し売上に寄与してきており、当社グループの第3の柱として成長が期待されます。

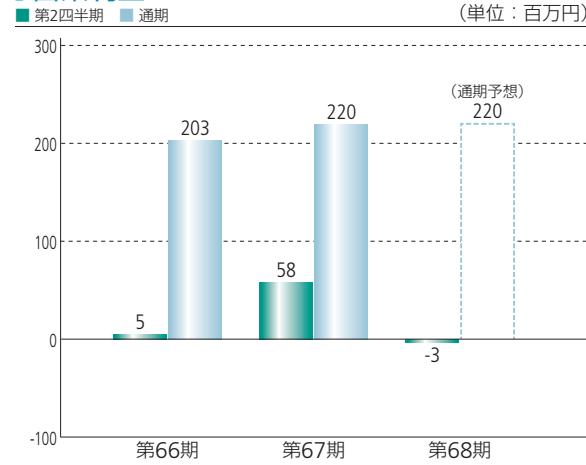
利益面では、売上原価の上昇を抑えるため、工場の集約など生産体制の改善や、歩留まりを向上させる製造方法の見直しなど収益力の向上に努めてまいりましたが、売上減少の影響が大きく、営業損失3百万円（前年同四半期は5千8百万円の利益）、経常利益9百万円（同6千7百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失1百万円（同5千1百万円の利益）となりました。

第2四半期連結業績の推移

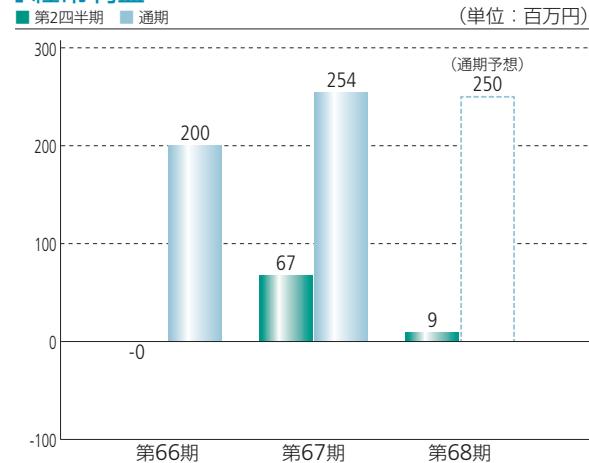
売上高



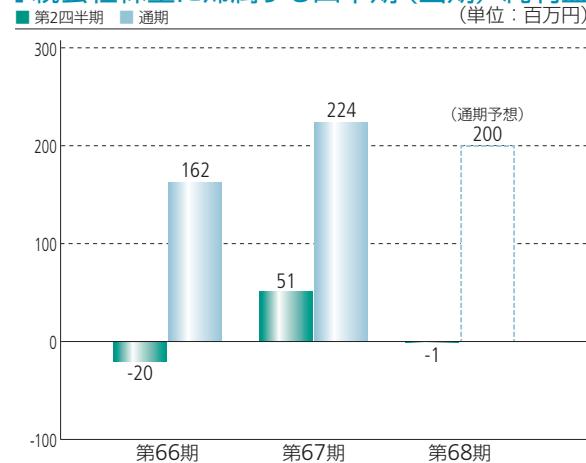
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



第2四半期決算概要

連結貸借対照表

単位：千円(未満切捨)

科目	前第2四半期 (平成28年9月30日)	当第2四半期 (平成29年9月30日)	前期 (平成29年3月31日)
資産の部			
流動資産	4,766,589	4,766,512	4,985,124
固定資産	4,428,191	4,497,886	4,276,370
有形固定資産	3,852,916	4,008,836	3,742,187
無形固定資産	330,062	245,166	292,139
投資その他の資産	245,212	243,883	242,043
資産合計	9,194,781	9,264,398	9,261,495
負債の部			
流動負債	1,929,740	1,816,773	1,597,426
固定負債	1,061,266	989,245	1,184,220
負債合計	2,991,007	2,806,018	2,781,647
純資産の部			
株主資本	6,471,628	6,596,010	6,643,845
資本金	1,617,844	1,617,844	1,617,844
資本剰余金	1,632,423	1,632,423	1,632,423
利益剰余金	3,350,863	3,476,616	3,524,155
自己株式	△129,503	△130,873	△130,578
その他の包括利益累計額	△308,844	△183,284	△209,556
その他有価証券評価差額金	17,438	27,965	22,408
繰延ヘッジ損益	△791	—	△92
為替換算調整勘定	48,911	72,739	78,924
退職給付に係る調整累計額	△374,403	△283,989	△310,796
非支配株主持分	40,989	45,653	45,559
純資産合計	6,203,773	6,458,379	6,479,847
負債純資産合計	9,194,781	9,264,398	9,261,495

連結損益計算書

単位：千円(未満切捨)

科目	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
売上高	4,152,515	3,947,183	8,661,221
売上原価	2,970,290	2,835,271	6,156,997
売上総利益	1,182,224	1,111,911	2,504,224
販売費及び一般管理費	1,123,756	1,115,089	2,283,364
営業利益又は営業損失(△)	58,468	△3,177	220,860
営業外収益	12,193	15,823	47,007
営業外費用	3,607	3,377	13,072
経常利益	67,054	9,268	254,795
特別利益	123	996	514
特別損失	4,376	12,424	109,621
税金等調整前四半期(当期)純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62,801	△2,159	145,688
法人税、住民税及び事業税	11,679	13,879	32,276
法人税等調整額	△1,615	△15,019	△113,853
四半期(当期)純利益又は四半期純損失(△)	52,737	△1,018	227,264
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,310	781	2,546
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	51,427	△1,799	224,718

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：千円(未満切捨)

科目	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	前期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,210	56,110	663,586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401,301	△97,549	△806,623
財務活動によるキャッシュ・フロー	138,011	△186,546	189,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,893	△2,811	△23,298
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△237,972	△230,796	23,257
現金及び現金同等物の期首残高	1,143,539	1,166,797	1,143,539
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	905,566	936,000	1,166,797

トピックス

泰阜村(長野県)で有機質肥料生産開始!! —森林保全にも貢献—

平成29年7月28日、長野県下伊那郡泰阜村三耕地地区にて有機質肥料生産施設「旭松バイオセンター」を竣工いたしました。

この施設では、当社主力商品である凍り豆腐(こうや豆腐)事業の副産物である微生物塊と間伐材チップを原料に、昔ながらの自然に近い堆肥の作り方を追求し、弊社独自の製法にて原料から肥料になるまでの一連の工程を行います。

有機質肥料を生産することで良質な土壌を作り、G-GAP認証*のもと高付加価値農産物の生産につなげることで、使い捨ての世の中から資源循環型の持続可能な農業に貢献できるものと考えています。

*G-GAP認証

Good Agricultural Practices (GAP) は、農業生産の環境的、経済的及び社会的な持続性に向けた取組みで、結果として安全で品質の良い食用及び非食用の農産物をもたらすものです。

【施設概要】

施設名称 旭松バイオセンター
所在地 長野県下伊那郡泰阜村2288-2
敷地面積 約3,000平方メートル



憩いの直売店”新あさひ屋”オープン

平成29年9月29日より本店(長野県飯田市)に併設されていた直売店を、より親しまれる空間へとリニューアルいたしました。

◇売場スペースを拡充し、選びやすく落ち着いた空間となります。また、飲食スペースを設けています。憩いの場所としてもご利用ください。

◇南信州産「つぶほまれ」大豆を使用した1ランク上のこうや豆腐やきな粉もごさいます。

※南信州産「つぶほまれ」大豆・・・南信州の契約農家で大事に育てられた、とても大きな粒で、しっかりとした味わいのある品種の大豆です。

◎店舗情報

【店舗名】 新あさひ屋

場 所 長野県飯田市駄科1008 旭松食品(株)本店
通常営業日 月曜日～金曜日(土、日、祝日、弊社休業日を除く)
営業時間 9時開店 ～ 16時30分閉店



会社の概要 (平成29年9月30日現在)

商 号 旭松食品株式会社
ASAHIMATSU FOODS CO.,LTD.
本 店 長野県飯田市駄科1008番地
本 社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
設 立 昭和25年12月19日
資 本 金 1,617,844,105円
関 連 会 社 旭松フレッシュシステム株式会社
青島旭松康大食品有限公司
青島旭松康大進出口有限公司
従 業 員 数 グループ人員：333名
当 社 人 員：236名
主 な 事 業 内 容 大豆加工製品の製造及び販売
主 要 製 品 家庭用凍豆腐、業務用凍豆腐、
即席みそ汁・スープ類、
医療用食材等
主 要 な 拠 点
本 店 長野県飯田市駄科1008番地
本 社 大阪市淀川区田川三丁目7番3号
支 店 東日本支店(東京都中央区)
西日本支店(大阪市淀川区)
営 業 所 仙台営業所(宮城県)
名古屋営業所(愛知県)
岡山営業所(岡山県)
福岡営業所(福岡県)
工 場 天竜工場・飯田工場・伊那工場・
高森工場・旭松バイオセンター
(以上 長野県)
研 究 所 食品研究所(長野県)
ホームページアドレス <http://www.asahimatsu.co.jp/>

取締役及び監査役 (平成29年9月30日現在)

代表取締役社長 木 下 博 隆
取締役 蒲 田 充 浩
取締役 兼 経営企画部長
取締役 兼 品質保証部長
取締役 兼 研究開発統括部長
取締役 兼 研究所長
取締役(社外) 藤 森 明 仁
取締役(社外) 田 中 健 一 郎
常 勤 監 査 役 佐々木 寛 雄
監 査 役 (社 外) 伊 坪 眞
監 査 役 (社 外) 狩 野 拓 一